

PRESS RELEASE

モナコ政府観光会議局カクテルイベント 〈Monaco, Everything at Once. (全てが叶う国、モナコ)〉開催 多彩な魅力を一度に体験できる、唯一無二のデスティネーションを訴求



(写真左より)：モンテカルロ・ソシエテ・デ・バンド・メール 日本代表 伊藤 宏和氏、モナコ政府観光会議局日本事務所 ディレクター シルベスタ 典子、Forbes JAPAN 執行役員 Web 編集長 谷本 有香氏、株式会社エアウィーブ代表取締役会長兼社長 高岡 本州氏、在東京モナコ公国名誉総領事館 名誉総領事補佐 岡本 浩治氏)

©モナコ政府観光会議局

モナコ政府観光会議局（所在地：モナコ公国）日本事務所は、2026年6月17日（水）にパークハイアット東京（所在地：東京都新宿区）にて、カクテルイベント〈Monaco, Everything at Once. (全てが叶う国、モナコ)〉と題し、トレード・メディアイベントを開催いたしました。

当日は、旅行会社の個人旅行・MICE 担当者およびメディア関係者など約 80 名が参加しました。イベント冒頭では、モナコ政府観光会議局日本事務所ディレクターのシルベスタが、現在展開中のグローバルキャンペーン〈Monaco, Everything at Once. (全てが叶う国、モナコ)〉について説明。コンパクトな国土に地中海の美しい景観をはじめ、文化、スポーツ、ガストロミー、ナイトライフなど多彩な魅力が凝縮されており、それらをシームレスに楽しむことがモナコならではの特徴であると語りました。

徒歩圏内にラグジュアリーホテルや会議施設が集積する利便性と、高品質なホスピタリティを強みに、観光および MICE デスティネーションとしての優位性を訴求。さらに、「モナコに泊まる」をテーマに、宿泊することで初めて体験できる朝から夜までの充実した滞在価値についても触れました。

その後、在東京モナコ公国名誉総領事館名誉総領事補佐 岡本浩治氏が「2026 年は日本とモナコの外交関係樹立 20 周年という記念すべき年。観光・文化・ビジネスを通じて両国の交流がさらに深まることを期待しています」と挨拶。昨年の大阪・関西万博を契機に高まった両国の交流や、今後予定されている記念事業についても触れ、乾杯のご発声をいただき、和やかな雰囲気の中で会が始まりました。



モナコ政府観光会議局日本事務所 ディレクター シルベスタによる挨拶



在東京モナコ公国名誉総領事館名誉総領事補佐 岡本氏 乾杯挨拶

©モナコ政府観光会議局

■トークショー「大人の遊び心、その先にあるもの。モナコが変える視座と未来」

プログラム中には、モナコに渡航経験のある、エアウィーヴ代表取締役会長兼社長高岡氏、そして、Forbes JAPAN 執行役員 Web 編集長谷本氏にご登壇いただき、「大人の遊び心、その先にあるもの。モナコが変える視座と未来」と題したトークセッションを行いました。



トークセッションの様子

(写真左より：モナコ政府観光会議局日本事務所 ディレクター シルベスタ、Forbes JAPAN 執行役員 Web 編集長 谷本氏、株式会社エアウィーヴ代表取締役会長兼社長 高岡本州氏)

©モナコ政府観光会議局

■一流の人たちが集まり、刺激を受けあう場所、唯一無二の場所、モナコ



©モナコ政府観光会議局

高岡氏はモナコの魅力について、また、モナコへ行った際のおすすめの過ごし方について、次のようにお話をされました。

「モナコは唯一無二の場所です。どの世界でも、ブランディングの世界にはジェラシーが溢れているが、モナコには敵がない。だからこそ、世界に向けて何かを発信する場所として本当に特別だと感じています。

街が小さくて、ギュッと凝縮されているのも魅力です。とても過ごやすく、ラグジュアリーでありながら、どこか庶民的なところもある。それが全て一つの街に収まっていて、1番ワクワクする街だと思います。一流の人たちが集まり、刺激を受け合う、そういう場所です。

おすすめは、テルム・マラン・モンテカルロです。エルミタージュにあるスパ施設で、クライオセラピーというプログラムが素晴らしい。手の届かない値段ではないので、モナコに行ったらぜひ行きたい場所ですね。」

■「VIPの方たちの作法」が詰まっている、世界の社交界の人たちへのアクセス権を上げてくれた場所

谷本氏は以下のように、モナコの魅力についてお話をされました。「モナコは街のどこを切り取っても『ラグジュアリー』という言葉のイメージに最も近い街。必ず皆さんのお気に入りの場所を見つけられると思います。

モナコにはエクスクルーシブな価値があり、世界の最高峰が詰まっている場所ですから、訪れることには絶対に価値があると思います。

そして、モナコには『VIPの方たちの作法』が全て詰まっています。モナコに行くだけで世界の社交界へのアクセス権を得られるような場所でもありますので、企業トップの方などは、そんな世界一流のプロトコルを学びに行かれてもいいのではないのでしょうか。」



©モナコ政府観光会議局

トークショーの最後には、モナコ政府観光会議局ディレクター シルベスタが以下のように締めくくりました。

「モナコという場所は、もっと頑張れる、もっと上を目指せるというエネルギーをもらえる場所。そうした世界的な潮流や、ヨーロッパの中心という環境や体制が、高い視座を与えてくれるのだと思います。」

そして、現地パートナーである、モンテカルロ・ソシエテ・デ・バン・ド・メール日本事務所代表 伊藤宏和氏から、モンテカルロ・ソシエテ・デ・バン・ド・メールの施設、そして MICE に特化した情報についてわかりやすくご案内いただきました。



モンテカルロ・ソシエテ・デ・バン・ド・メール 日本代表 伊藤 宏和氏



会場に設置された新グローバルキャンペーンのパネル

©モナコ政府観光会議局

会の最後には、モンテカルロ・ソシエテ・デ・バン・ド・メールオリジナルのモノポリーや、モナコの宿泊券などが当たるマジシャンによる抽選会が実施され、会場は大いに盛り上がりを見せました。旅行業界およびメディア関係者にご参加いただいた本イベントは、観光および MICE デスティネーションとしてのモナコへの理解を深める場となりました。

※本リリースの画像は[こちら](#)からダウンロードしてご利用ください。

モナコ政府観光会議局の役割について

日本におけるモナコ政府観光会議局は、海外事務局のネットワークを活用しながら、グローバルな規模で観光事業を推進し、モナコへの渡航者需要の喚起に努めています。

グローバル規模での取り組みによって、旅行業界のビジネスパートナーとの協力関係をより強化し、中長期でのビジネスを生み出しています。モナコ国内には様々な専門分野に特化したビジネス・イベントやレジャー観光施設が揃っています。モナコ政府が推進している観光政策を推し進めた結果、観光産業は徐々に増加し、今日では、ビジネス目的の観光はモナコ国内の年間ホテル販売客室数のうちの 30%以上を占めています。

モナコは、世界中の裕福な人々が集まる国としても知られていますが、観光客にラグジュアリーなモナコの様々な施設やサービスを提供するだけでなく、2030 年までに 55%の温室効果ガス排出を削減、2050 年までにカーボンニュートラル実現を目標としています。その国をあげた目標に向かい、政府、観光局、ホテルはもちろん観光業を取り巻くさまざまなパートナーとともに限りある資源を最適化し、地球、海洋保全の活動に積極的に取り組み、伝統を守りつつもイノベーションを促進し、革新的文化の創造を続けるモナコを、渡航先として選んでいただけるよう様々な活動を展開しています。

モナコ政府観光会議局日本事務局は、日本からのビジネス渡航需要の喚起を含め、トレード向けの専門業界イベントへの参加、提携ツアーオペレーターや旅行代理店への認知拡大、プロモーションキャンペーンの実施（旅行代理店向け特別施策、観光事業施策のプレゼンテーション実施）などモナコ政府支援による国家事業として、MICE およびレジャー観光に関する事業について様々なアドバイスをご提供いたします。

プレスの方からのお問合せ先

キャンドルウィック株式会社内 杉田、三浦（葵）、ブルース

Tel: 03-6261-6005 / Fax: 03-6261-6051 / E-mail:monaco@candlewick.co.jp

モナコ政府観光会議局公式ページ：<https://www.visitmonaco.com/ja>

公式 Facebook ページ：<https://www.facebook.com/visitmonaco/>

公式 Instagram ページ：<https://www.instagram.com/monacotabi/>

公式 YouTube アカウント：<https://www.youtube.com/@モナコ政府観光会議局-p3h>